

一般の方向け> どうして、癌は英語でCancer(カニ)なの 「がんと癌：用語の説明」からの説明文の転載引用

がんと癌：用語の説明

<http://www.ctjsc.com/ct/whatCT.htm>

まず、最初に用語の説明をします。みなさんはよく「がん」とか「癌」ということばを目にしたり使われていると思います。医学用語では「がん」と「癌」は使い分けられています。先ほども述べたように「がん」は細胞の病気で、我々の体はいろんな種類の細胞からできています。



まず、体の表面を覆っている細胞と言えば皮膚を思い浮かべるとは思いますが、内側の表面：食道、胃、腸などの内面も細胞に覆われています。



また、膀胱、子宮の内面の細胞や乳腺、肝臓、膵臓などの細胞も細い管（腺腔）を介して外につながっています。

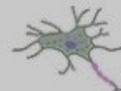
このような体の表面や体の中の臓器の内面を覆っている細胞や、体の外とつながって腺腔をつくっている細胞を上皮（じょうひ）細胞と言います。

この上皮が悪性化（がん化）したものを「癌」と言って漢字で書きます（胃癌、大腸癌、食道癌、皮膚癌、膀胱癌、子宮癌など）。

上皮のほかにも体の中には組織があります。



筋肉、骨、血液細胞、リンパ球などです。筋肉や骨が悪性化（がん化）したものは「癌」と漢字では書かないで、肉腫（平滑筋肉腫、横紋筋肉腫、骨肉腫など）と言います。



また、血液細胞やリンパ球が悪性化したものは、白血病、リンパ腫というように表現します。

「癌」、「肉腫」「白血病」「リンパ腫」など全ての悪性腫瘍を表現するときは「がん」または「ガン」とひらがなやかたかなで表現します。

放射線治療装置専門講習テキスト

第1章 原稿案_01_装置基礎概論_20170719

医用放射線機器点検技術者

放射線治療装置専門講習テキスト

(1)細胞検査士会 <http://www.ctjsc.com/ct/whatCT.htm>

1.1.2 がんと癌（参考）

医学用語では「がん」と「癌」は使い分けられている。

「がん」は、「すべての悪性腫瘍の総称」。「癌」は上皮から発生した悪性腫瘍を指す

「がん」は細胞の病気で、我々の体はいろんな種類の細胞からできている。

まず、体の表面を覆っている細胞と言えば皮膚を思い浮かべるとは思いますが、内側の表面：食道、胃、腸などの内面も細胞に覆われています。また、膀胱、子宮の内面の細胞や乳腺、肝臓、膵臓などの細胞も細い管（腺腔）を介して外につながっている。このような体の表面や体の中の臓器の内面を覆っている細胞や、体の外とつながって腺腔をつくっている細胞を上皮（じょうひ）細胞と言う。この上皮が悪性化（がん化）したものを「癌」と言って漢字で書く（胃癌、大腸癌、食道癌、皮膚癌、膀胱癌、子宮癌など）。

上皮のほかにも体の中には組織がある。筋肉、骨、血液細胞、リンパ球など。筋肉や骨が悪性化（がん化）したものは、肉腫（平滑筋肉腫、横紋筋肉腫、骨肉腫など）と言う。

また、血液細胞やリンパ球が悪性化したものは、白血病、リンパ腫というように表現する。

「癌」「肉腫」「白血病」「リンパ腫」など全ての悪性腫瘍を表現するときは「がん」または「ガン」とひらがなやかたかなで表現する。(1)